解　説

第 ８ 章　　　エネルギー・上下水道

電力

電力需要量(低圧、一般家庭向け)は減少、発電電力量は増加

電力調査統計によると、令和4年度の電力需要量(低圧、一般家庭向け)は2,027万MWhで、前年度に比べ1.4%減少しました。月別では1月がピークで、年間月平均の約1.4倍です。



[第8章1表より]

電力需要量(大阪府内)

また、発電電力量(全国)は、令和3年度は「水力」、「ＬＮＧ」以外の発電量が増加し、全体でも前年度に比べ3.2%増加となっています。



発電電力量(一般電気事業用・全国)

［経済産業省　資源エネルギー庁「エネルギー白書2023」より］

再生可能エネルギー等

太陽光発電は10年間で約4.5倍に

　　大阪府環境農林水産部によると、令和4年度末現在の再生可能エネルギー(太陽光発電、廃棄物発電等)や燃料電池等(コージェネレーション等)の導入状況は、太陽光発電が118万9千kW（住宅用55万4千kW、非住宅用63万5千kW）、廃棄物発電等が27万2千kW(うち一般廃棄物によるもの26施設、23万9千kW)、燃料電池等が54万6千kW(家庭用5万7千kW、事業用49万kW)です。

太陽光発電は、10年前(平成24年度)の約4.5倍です。



[第8章2表より]

太陽光発電導入量(累計)

上下水道

有収水量は逓減、下水道普及率・水洗化率は逓増

　大阪府健康医療部によると、令和4年度の有収水量(料金徴収の対象となった水量)は9億8,782万2千㎥で、前年度に比べ712万1千㎥(0.7%)減少と、僅かながら減少が続いています。

※　大阪府工業指数は、平成31年１月速報（3月公表）から基準年次を平成22年から平成27年に改定しました。(５年ごとに改定)

大阪府都市整備部によると、令和4年度の下水道整備状況は、普及率は97.0％、水洗化率は97.5%で、前年度に比べ普及率は0.1ポイント上昇、水洗化率は0.2ポイント上昇と、いずれも僅かながら上昇が続いています。



下水道整備状況

※事業用有収水量、生活用有収水量は、当該用途での

契約をしているものの合計値

年間有収水量

[第8章7、8表より]